



社会とつながる 学校

玉村町立玉村中学校  
令和5年度 2023年●月●日 No.01

「自分で考える力」を育てる ～笑顔があふれる学校・社会とつながる学校・心穏やかな学校・主体的な学校～

The Lecture 思春期に考える「命」

～命に寄り添う現場から玉中生へのメッセージ～

# 「命」を考える

あなたがいて幸せ… あなたがいる幸せ…

公益財団法人群馬県助産師会から講師の先生をお招きして、「命」について真剣に考える授業を、2・3年生を対象に行いました。命に寄り添う助産師さんからの真っ直ぐなメッセージが、生徒たちの澄んだ心に穏やかに響きました。

日時：令和5年10月5日(木) 5・6時間目

講師：公益財団法人群馬県助産師会

眞下由利子先生 柴田克子先生

【玉村中学校2・3年生 293人 が参加しました】



## <生徒の感想>

- お母さんだけでなく、自分も生きる覚悟をもち生まれてきて、今を過ごしていることに感動しました。
- 今普通に学校に行き友達と話している日々などは当たり前でなく、お母さんやお父さんのおかげでもあるということをもう一度考え直すことができました。 ■お腹の中で亡くなってしまう赤ちゃんもいるなかで自分が今たくさんの人に支えられ、いろんなことに取り組み、たくさんの感情をもっているということは言葉にできないほどの感謝があるなと思いました。 ■私達は選ばれた人間だとわかりました。親も命がけで生んでくれたり見捨てずにここまで育ててくれたのですごく感謝をしたいなと思いました。
- 私は最近自分の中で色々な感情がごちゃごちゃになってしまうことがよくあって生きてるの辛いなどと考えてしまうことがあったのですが、生きてるだけで100点満点という言葉が今日何回も聞いて気持ちが楽になりました。 ■私が生まれてくるまでに親はこんなに苦労してたんだとおどろいたし、生まれてからも親は自分の寝る時間などもなくして私を必死に育ててくれていたと知ってありがたいと思いました。